

議員が聴いた！ 今とこれから

一般質問

一般質問は、議員個人が市政全般に関わるさまざまなテーマについて市の方針や市長の考え等を問いただす場です。

令和5年3月定例会では12人の議員が一般質問を行いました。

(本文は質問者自身の原稿によるものです。)

質問者
(質問順)

山口 恵子

山崎油美子

上條 元康

中村 努

石井 勉

柴田 博

古畑 秀夫

小澤 彰一

篠原 敏宏

西條 富雄

横沢 英一

永田 公由

※所管する担当課を掲載
しています。

質問者のすべての
質問事項は
ホームページで
確認できます。



一般質問

誰もが暮らしやすい社会を



公明党
やまぐち
山口

あきこ
恵子

その他の
質問事項

- ▼ 就労支援・テレワーク推進事業KADOの役割
- ▼ がん治療におけるアピアランスケア

◆小児救急医療の充実

問 市内では小児科医不足から夜間に急病等の場合は距離の離れた「松本市小児科・内科夜間急病センター」まで行かなくてはならない。医療体制の充実を図り「まつもと医療センター」で受診できるよう望むが方針は。

答 この度まつもと医療センターと「健康増進、医療に関する連携協定」を締結した。小児科医が多く在籍していることから、松本市など関係機関と検討を重ねていきたい。(市長)

◆新婚世帯を応援

問 若者の応援プロジェクトでは、新婚世帯の住宅補助制度を推進しているが市の取り組みは。

答 少子化対策、定住・移住対策の目的で令和5年4月から事業を開始したい。婚姻日に夫婦ともに39歳以下で、夫婦の合計年間所得が500万円

未満、さらに3月1日以降に婚姻届が受理された夫婦を対象に、引越費用や家賃費用等に補助をする。(秘書広報課)

◆障害者手帳の提示

問 障がい者が割引サービスを受けるために紙の手帳同様に、障害者手帳アプリを提示し本人確認ができるよう対応を望むが状況は。

答 民間が開発したアプリは無料でダウンロードでき、市内の26事業所に対応できる。市の「のーと」乗車時にも対応しており提示により割引サービスを受けられる。(福祉課)



障害者手帳アプリ
「ミライロID」も利用できる「のーと」